Nauticam

NA C50 10590

for Canon EOS C50

Fisheye

目次

安全にお使いいただくために ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・03
事前チェック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・05
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・05
各部名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・06
【取扱方法】
ハウジングの開閉方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・09
カメラのセッティング ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
外部バッテリーパックの取付 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
リークセンサー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
バキュームリークセンサー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
レンズポートの取り付け方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
浸水テスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
メンテナンス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

＊取扱説明書について

●本書の内容は、予告なく変更することがあります。

●本書の内容について、誤記、記載漏れ、印刷ミス、不明な点などがありましたら、弊社もしくはお近くの販売店までご連絡をお願いいたします。

●本書の一部もしくは全部をいかなる方法でも、個人利用を除いて、無断で複写・複製することはできません。

安全にお使いいただくために

●この説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
●誤った使い方をされますと、カメラ、ハウジングの故障や水没の原因となり、修理不能となるおそれがあります。
●ご使用の際は、必ず事前の点検、テストを実施してください。
●カメラの水没、故障、データの消失による補償や、分解、改造、修理に伴う事故などに関し、弊社では一切責任を負いかねますので、ご了承ください。また、使用時の人身、物損事故に関しての補償はいたしかねます。
●本製品はアルミ削り出し工法により製作されております。そのため、多少の傷、切削痕が見られる場合がありますが、動作には支障ありません。このような工法上のクレームはご容赦願います。

安全上の注意

以下に表示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつくおそれがあります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

危険	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
警告	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意	取扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

危険

●本製品の改造・分解は絶対におやめください。水没や発熱、発火の原因になります。
●本製品を水中で使用する際は、水深や潜水時間に十分ご注意ください。水中撮影に没頭しすぎると重大な潜水事故につながる危険性があります。

警告

●本製品を乳児、幼児、小さなお子様など、本製品の安全上の注意について理解できない人の手の届く場所に保管しないでください。落下によるケガ、Oリングによる窒息、小さな部品を飲み込むなど、事故の原因となります。
●本製品を長期間使用されない時はカメラ本体を取り出してください。カメラ本体の電池のトラブルなどによる発火のおそれがあります。
●本製品は樹脂製素材を使用しております。強い衝撃や圧迫によって破損した場合、破片や割れた部分によるケガをするおそれがあります。
●本製品付属のＯリングやグリスなどは食べられません。

⚠ 注意

●本製品は 100m の水深まで耐えられるように設計されています。それ以上深い場所で使用されたり、浅い深度においても衝撃や圧迫を加えると、破損や浸水のおそれがあります。

●浸水や故障などの事故を防ぐために、本製品の使用前後には必ず点検とメンテナンスを実施してください。

●気温が異常に高くなる、あるいは低くなる場所、極端に大きな温度変化がある場所などに本製品を置いたり、保管したりしないでください。部品が劣化し、本体の破損や防水機能を損なうおそれがあります。

●砂や塵、ほこりなどが多い場所でハウジングを開閉すると、異物が付着することで防水性能が損なわれ、浸水の原因となります。

●飛行機で移動する場合などは、本体の O リングを外しておくことをおすすめします。気圧の変化でハウジングが開かなくなったり、その状態で無理に開こうとすることで本体の破損やケガをするおそれがあります。

●アルコールやベンジン、シンナーなどの有機系溶剤は、破損や変形の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

●万一、浸水が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。また、浸水している場合、ハウジング内部の圧力が高くなっていることがあります。ハウジングを開ける際、水が噴き出したり、本体が跳ねたりするおそれがありますので、十分にご注意ください。

●本製品は樹脂製素材を使用しています。使用中に岩などにぶつけて強い衝撃を与えると破損するおそれがあります。

●ダイビングのエントリー方法によっては製品に衝撃を与え、浸水や破損の原因となります。とくにボートダイブではエントリー後に船上から手渡してもらうなど、エントリー時の取り扱いには十分注意してください。

●ハウジングを開閉する際、ほこりやゴミの付着に注意してください。O リングの破損から浸水が発生するおそれがあります。

●ご使用の前には必ず O リングのメンテナンスを実施してください。とくにグリスアップを怠ると、O リングのねじれや劣化につながり、浸水するおそれがあります。

●ハウジングの内部をよく乾燥させた状態でご使用ください。水分が残っていると結露が発生するおそれがあります。使用環境、温度差、湿度により結露が発生する場合は、弊社製品の『FIX シリカシート』のご使用をおすすめします。

●ご使用前に直射日光の当たる場所に放置しないでください。ハウジング内部の温度が高くなった状態で水に浸けると、急激な温度変化により結露が発生するおそれがあります。

事前チェック

●この取扱説明書は、お客様がすでにカメラ本体の使用方法を習熟されていることを前提に作成されています。もし、まだカメラ本体の使用に不慣れであれば、本製品の使用前にカメラ本体の説明書を熟読いただきますようお願いします。

●本製品を開梱する前に輸送時のダメージをご確認ください。もし大きなへこみなど梱包に異変があれば、お届けの配送業者あるいはご購入いただいた販売店にご連絡ください。

●本製品は出荷前に耐圧検査を実施していますが、輸送時に何らかのトラブルが発生する場合があります。水中での使用前に、カメラを装填しない状態での浸水テストを強くおすすめいたします。

●ご使用前に付属品がすべてそろっているかご確認ください。

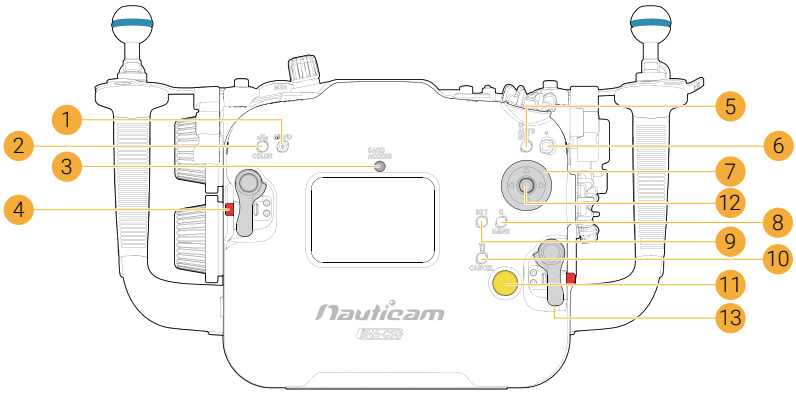
仕様

対象カメラ	Canon EOS C50
耐圧水深	100m
材質	耐腐食アルミ合金、耐摩擦性ポリカーボネート
サイズ	W366 × H237 × D131mm
重量	陸上 3740g ／水中 -233g（カメラ、バッテリー含む）
ポート径	N120
付属品	ダイレクトベース X2
	スペア O リング
	O リングリムーバー
	O リンググリス
	CR2032 電池
	六角レンチセット
	ボディキャップ
	キャリングバッグ
	USB L 字ケーブル
	取扱説明 QR カード／保証カード

仕様は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

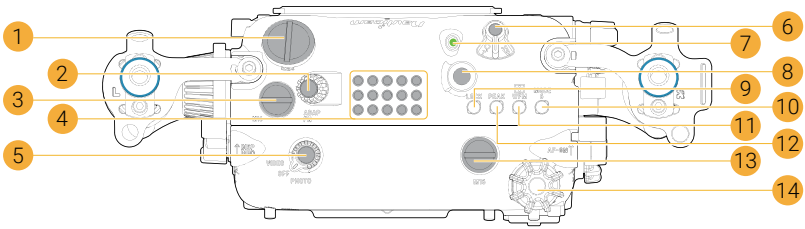
各部名称

【背面】

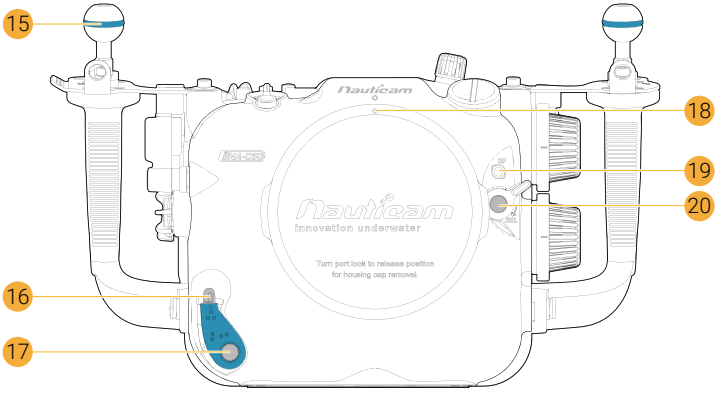


① メニューボタン
② カラーモード／ Rate ボタン
③ アクセスランプ
④ ロック解除ボタン
⑤ オートアイリス／ AE ロックボタン
⑥ AF-ON ボタン
⑦ マルチセレクター
⑧ メニュー／クィックコントロールボタン
⑨ セットボタン
⑩ キャンセル／削除ボタン
⑪ リークセンサー LED
⑫ セットボタン
⑬ インナーロックレバー

【天面】

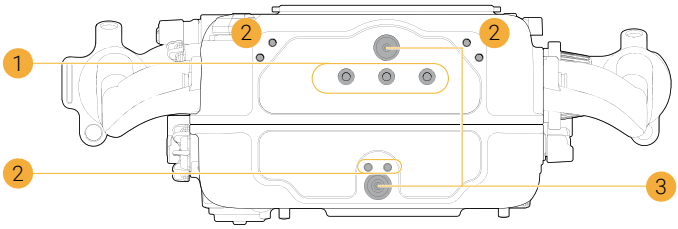


【正面】

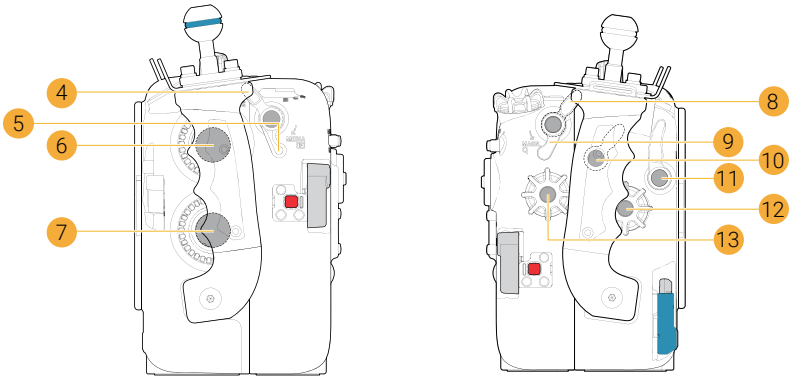


① M24 アクセサリーポート
② アダプター Fn ダイヤル
③ M16 アクセサリーポート
④ 1/4 インチ取付穴
⑤ パワースイッチ
⑥ ズームレバー
⑦ ポートロックセーフティインジケーター
⑧ M10 ボールジョイント取付け穴
⑨ ロックボタン
⑩ モード 6 ボタン
⑪ WFM ボタン
⑫ ピーキングボタン
⑬ M16 アクセサリーポート
⑭ クイックコントロールダイヤル 2
⑮ ダイレクトベース
⑯ セーフティボタン
⑰ ポートリリースレバー
⑱ ポート指標
⑲ RF レンズリリースボタン
⑳ レンズリリースレバー

【底面】



【側面】



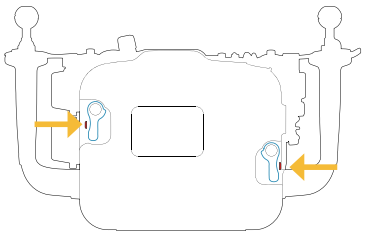
① 三脚ネジ穴
② M5 ネジ穴
③ ZINC ピース
④ DISP ／ INFO レバー
⑤ メディア／プレイバックレバー
⑥ ズーム／フォーカスノブ
⑦ ズーム／フォーカスノブ
⑧ AF-ON レバー
⑨ 拡大レバー
⑩ FUNC ／ M-Fn レバー
⑪ シャッターレバー
⑫ メインダイヤル
⑬ クイックコントロールダイヤル 1

取扱方法

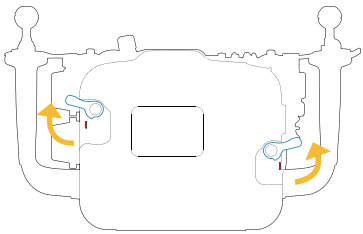
ハウジングの開閉方法

※以下の操作は湿気やほこりの少ない清潔なところで実施してください。

1



2

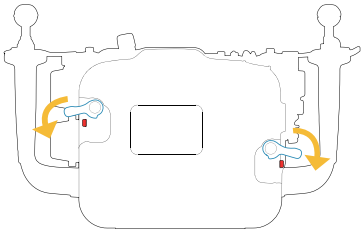


【開け方】

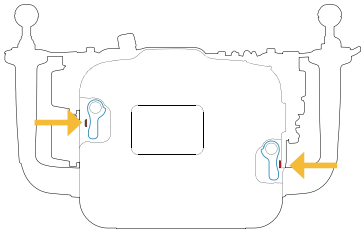
1.フロント側を下にして、平らな面に置きます。

2.ハウジングの左右にあるインナーロックレバーのセーフティボタンを押しながら、外側に開いてロックを解除します。（図1-2）

3



4



【閉じ方】

1.カメラが正しくセットされているか確認します。

2.OリングとOリングのアタリ面にゴミや髪の毛などの異物がないか確認します。

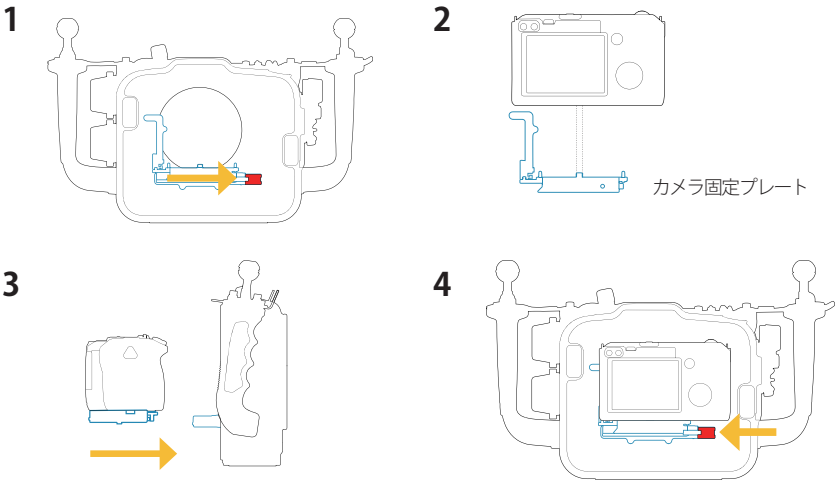
3.ハウジングの前後を合わせ、左右のインナーロックレバーを同時に内側に倒します。(図3-4)

4.ハウジングがしっかりロックされていることを確認します。

> **注意** ハウジングを閉じた状態で、O リングの挟み込みなどがないか、必ず全周を見渡して確認してください。

カメラのセッティング

1. ロックレバーを「OPEN」に回し、カメラ固定プレートを取り外します。（図 1）
2. カメラの三脚穴にカメラ固定プレートのネジを締め込み、カメラ固定プレートを取り付けます。
3. カメラ固定プレートをハウジングのトレイレールに沿って差し込みます。レンズおよびギアを取り付けた状態でカメラを装填する場合は、ズーム／フォーカスノブを引き出してください。
4. ロックレバーを「LOCK」に回し、カメラ固定プレートが確実に固定されていることを確認します。レンズおよびギアを取り付けた状態の場合は、ズーム／フォーカスノブを元の位置に戻し、レンズのギアと確実にかみ合っていることを確認してください。



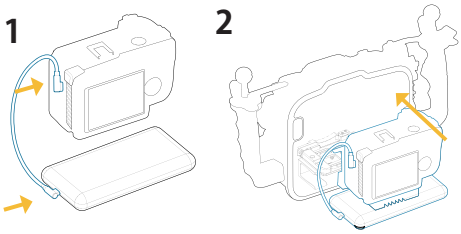
外部バッテリーパックの取付

1. 付属の USB L 字ケーブルを差し込み、カメラとバッテリーをケーブルで接続します（図 1）
2. カメラ固定プレートをトレイレールに沿ってハウジングに差し込みながら、バッテリーをカメラの下のバッテリー収納部に装填します。（図 2）

収納可能バッテリー

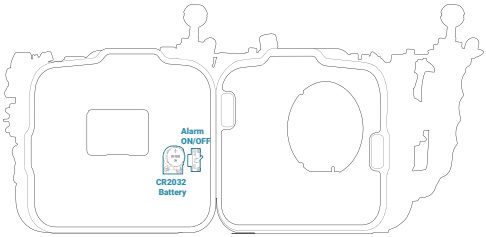
・Anker Power Bank
(20000mAh, 87W, Built-In USB-C ケーブル)

・収納可能なバッテリーサイズ
165（幅）× 76（奥行）× 26mm（高さ）以内
＊バッテリーを収納し、隙間がある場合は、クッション材などで隙間を埋めてください。



リークセンサー

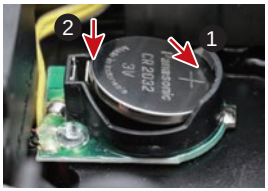
本製品には水感知式の「リークセンサー」が標準装備されています。万一、ハウジング内に浸水が発生した場合、アラーム音と LED の発光で警告します。



【電池の着脱方法】

1. 電池を取り付ける際は、先に電池を押さえ爪の反対側に差し込み、その後、押さえ爪側を押し込みます。（図 1）
2. 電池を取り外す際は、押さえ爪を指先などで押してリリースします。（図 2）

1

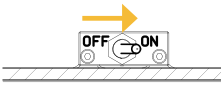


2

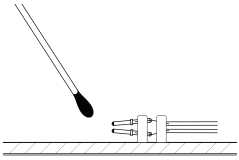


ご使用前に以下の手順でセンサーの状態を確認してください。

1. 付属の電池を電池ボックスにセットして、アラームのスイッチを入れます。
2. 電池が正常であれば、LED が青色に点灯し、5 秒後にゆっくりとした点滅を開始します。バキュームリークセンサーを使用しない場合は、そのまま青色 LED が点滅した状態で使用します。
3. センサーの 2 本のワイヤーを軽く湿らせた綿棒で触ってください。アラーム音が鳴って LED が赤く点滅すれば異常ありません。その後、乾いた布などでワイヤーを軽く拭いてください。アラーム音と LED 点滅は拭き取り後も 5 秒間継続します。
4. 電池が消耗している場合は、LED が青色と赤色の交互に点灯します。また、ただちに電池の交換が必要な場合は、LED が赤色に点灯します。



リークセンサースイッチ

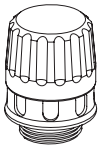


リークセンサー端子

バキュームリークセンサー

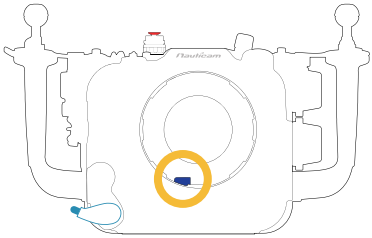
本製品には、バキュームチェックおよびリーク検知システムが標準装備されています。別売りのバキュームバルブを取り付けることで、ハウジング内部の真空状態を確認できるようになります。

対応バキュームバルブ
NA バキュームバルブ IIM16
※取り付けはハウジングのお預かり作業となります。



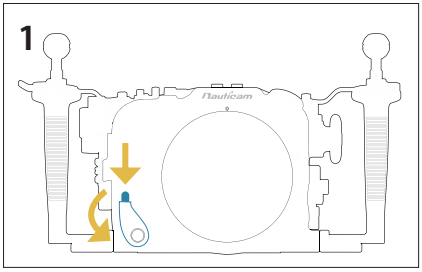
【バキュームリークセンサーのリセット】

1. バキュームリークセンサー使用中はハウジング内部は陰圧になっているため、ポートを取り外す際は先にバキュームバルブキャップを外してボタンを押し、ハウジング内部を常圧に戻します。給気中はリークセンサーのLED が黄色の早い点滅となります。
2. LED が赤色の早い点滅に変わったら、ポートを取り外すことができます。
3. カメラ固定プレート前面の青いリセットボタンを押してバキュームリークセンサーをリセットします。正常に作動すれば LED が青色に点灯し、5 秒後にゆっくりとした点滅を開始します。
4. レンズとポートを取り付けます。

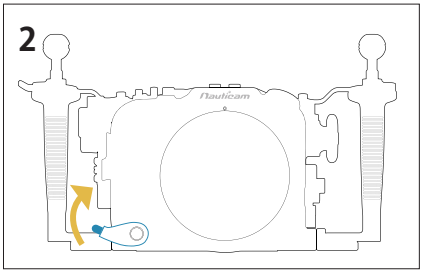


レンズポートの着脱

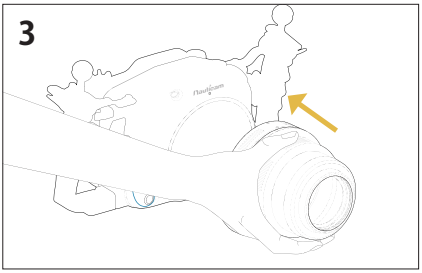
弊社Webサイトの「NA システムチャート」にて、対応可能なポートをご確認ください。本製品のポート口径サイズは「N120」です。マウントコンバーターやエクステンションリングが必要となる組み合わせもありますのでご注意ください。



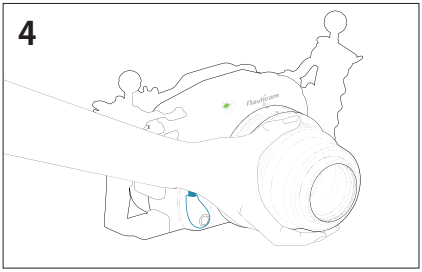
ポートリリースレバーのセーフティボタンを下側に押し、レバーを反時計方向に回します。付属のボディキャップを外します。



ポートリリースレバーを時計方向にゆっくり回して戻します。



ポートからOリングを取り外し、傷や付着物がないか確認します。付属のOリンググリスを薄く伸ばした後、ポートの溝に収めます。ポートとハウジングの取り付け指標を合わせ、ポートを「カチッ」と音がするまでしっかりとまっすぐ押し込みます。



ポートロックセーフティインジケーターを確認します。ポートがしっかりとロックされている場合、ポートロックセーフティーインジケーターは緑色に表示されます。インジケーターが緑色に表示されない場合は、ポートを取り外して、再度取り付けてください。

●ポートを取り外す場合は、「1」の手順と同様に、ポートリリースレバーのセーフティボタンを下側に押し、レバーを反時計方向に回してから、ポートをまっすぐに引き抜きます。

注意 逆光時の撮影の際、ポート内のレンズやギアなどの反射がポートのガラスに写り込む場合があります。その際は、写り込みのない位置で撮影してください。

浸水テスト

ご使用前に

1. カメラを装填する前に、空の状態のハウジングを実際に使用する深度まで沈めて浸水の有無を確認してください。
2. ハウジングの浸水事故は、主に以下のようなケアレスミスが原因で発生します。

● O リングの付け忘れ。
● O リングが溝に正しくはまっていない。
● O リングにキズ、ひびがある。または変質、変形している。
● O リングの溝や接触面に、砂、ゴミ、髪の毛などが付着している。
● O リングの接触面や溝自体にキズがある。
●カメラが正しい位置にセットされていない。
●ハウジングを閉じる際、ストラップや除湿剤などを挟み込んでいる。

※万一、ハウジングに水漏れが見られる場合は、上記の原因を取り除いた上で再度テストを行ってください。

> **注意** 事前テストは実際に使用する深度で実施するのが最適です。ただし、その深度の確保が難しい場合でも、より浅い深度で必ず浸水テストを実施してください。テストを実施したにもかかわらず浸水が確認される場合は、製品の使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社カスタマーサービスまでご相談ください。

ダイビング前のチェック

ダイビングでご使用になる前に、以下の最終チェックを必ず実施してください。

1. 水を張ったカメラ洗い桶（なければ水面）に、ハウジングを水平に保ちながらゆっくりと沈めます。
2. 最初は 3 秒間水に入れ、ハウジング本体から気泡が上がってこないか確認します。O リングの付け忘れやストラップの挟み込みなどがある場合、わずか 3 秒でも浸水します。
3. 同様に、30 秒、3 分と時間を延ばしてチェックを行います。
4. ハウジング本体から継続的に気泡が上がる場合はただちに使用を中止し、再度 O リングの状態をチェックしてください。

> **注意** ハウジングを持ったままボートや高所からエントリーするなど、ハウジングの一方向に強い水圧がかかる行為は避けてください。浸水のリスクが高まります。

メンテナンス

O リングのメンテナンス

1. 付属の O リングリムーバーを、O リングと本体の溝の間に差し込みます。
2. O リングリムーバーの先端で O リングを引っ掛け、溝から取り外します。
3. O リングと溝に付着した砂、塩分、古いグリスを取り除きます。溝の清掃には綿棒などを使うときれいに仕上がります。その後、指の感触や目視でキズ・ひび割れがないかチェックしてください。
4. キズやひび割れなどの不具合が見られる場合は、新しい O リングに交換します。
5. 付属の O リンググリスを米粒大ほど指先に取り、3 本の指で挟むようにして O リング全体へ均一に薄く伸ばします。その際、力を入れて O リングを引っ張らないようご注意ください。

※グリス自体に防水性はありませんが、量が不足すると O リングが溝の中でねじれ、浸水の原因になります。

6. O リングを溝に装着します。ねじれやはみ出しがないよう注意してはめ込んでください。
7. ハウジングを閉じる直前に、もう一度 O リング面と接触面を目視で確認し、指でなぞってゴミや髪の毛などの付着がないか最終確認を行ってください。

⚠ 注意

- ●O リング面に小さなキズやひび割れがある場合は、その O リングは絶対に使用せず、すぐに新しいものと交換してください。
- ●O リング溝や、O リングが当たる接触面に砂、ゴミ、髪の毛などが付着していないか、またキズやひびがないかを必ず確認してください。
- ●O リング・溝・接触面のチェックおよびグリスアップは、ハウジングを開閉するたびに毎回実施してください。
- ●本製品の O リングはシリコンタイプです。グリスアップには必ず付属の O リンググリスを使用してください。指定以外のグリスを使用すると O リングが膨張し、防水性能を損なう原因となります。

ZINC ピース

ハウジング底面の ZINC（亜鉛）ピースは、錆や腐食によるボディの劣化を軽減するものです。使用を重ねるうちに徐々に溶けて減少していきますので、状態に合わせて適宜交換してください。

使用後のメンテナンス

海で使用した後は以下の手順で塩分を洗い流してください。

1. 真水を溜めたカメラ専用の洗い桶や洗面器にハウジングを浸けます。
2. 各レバーやボタンを操作し、塩分を洗い流します。
3. できればそのまま 10 ～ 20 分間、水に浸しておきます。
4. 水から上げたら、弱い流水で洗い流します。

※浸水の原因となるため、強い水流を特定の方向から当てるのは絶対におやめください。

5. 乾いたやわらかい布などで水気をよしっかりとふき取ります。
6. トラブル防止のため、現地での塩抜きだけで済ませず、帰宅後にも必ず再度お手入れを行ってください。
7. 長期間使用しない時は、付属のグリスを O リングに薄く塗ってから保管してください。なお、O リングは 1 年ごとの交換、本体は 2 ～ 3 年に 1 度のオーバーホール（分解点検）をおすすめします。

⚠ 注意

- ●洗い桶に浸している時には、絶対にハウジングの開閉はしないでください。
- ●海で使用後に放置すると、細かいすき間に残った塩分が結晶となり、水に溶けなくなってしまいます。結晶化した塩分は O リングを押し上げ、浸水の原因となります。
- ●使用後はハウジングの接合部などに水滴が残っています。ハウジングを開けた際にカメラ本体に水滴が垂れないようご注意ください。また、髪の毛やウエットスーツからの水滴落下にも気をつけてください。
- ●炎天下での直射日光による乾燥や、ドライヤーなどによる乾燥は、故障や変形、破損の原因となりますので絶対におやめください。
- ●直射日光の当たる場所や、真夏の車内など高温になる場所に放置・保管しないでください。内部温度の上昇により、防水機能（気密性）が損なわれるおそれがあります。
- ●シンナー、ベンジンなどの揮発性有機溶剤や化学洗浄剤でハウジングをクリーニングしないでください。